

ダイワ世界インカム・ハンター (年2回決算型) 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約4年1カ月間 (2016年2月1日～2020年2月18日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド (円ヘッジ・クラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド (ヘッジなし・クラス)」の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

満期償還

(償還日 2020年2月18日)

(作成対象期間 2019年8月20日～2020年2月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5675>
<5676>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
4 期末 (2018年 2 月19日)	10,862	10	△ 0.1	—	99.3	198
5 期末 (2018年 8 月20日)	10,803	0	△ 0.5	—	97.3	167
6 期末 (2019年 2 月18日)	10,666	0	△ 1.3	—	98.6	164
7 期末 (2019年 8 月19日)	10,729	10	0.7	—	98.0	126
償 還 (2020年 2 月18日)	10,798.54	—	0.6	—	—	81

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

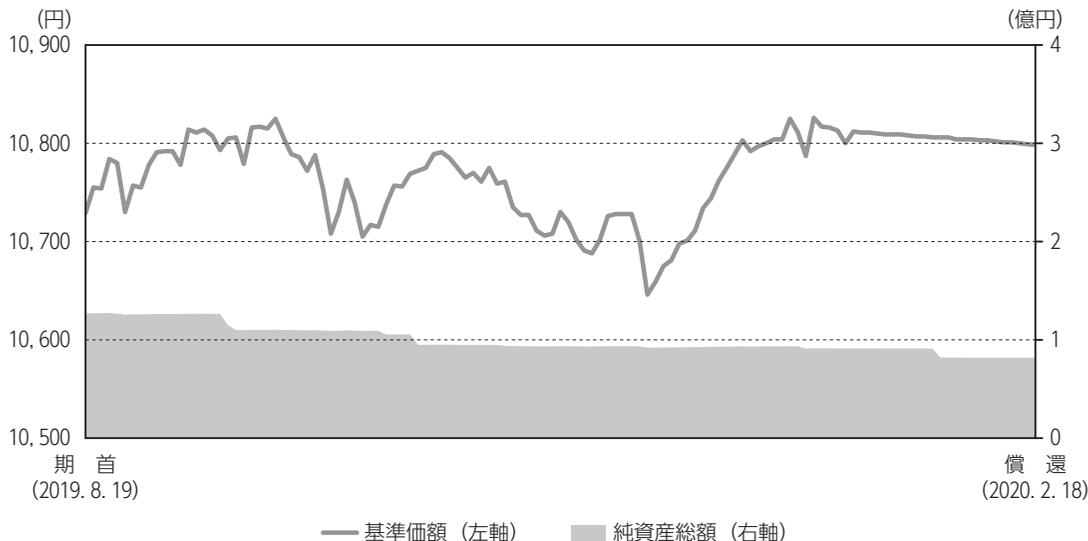
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：10,798円54銭（分配金40円）

騰落率：8.4%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの設定以降、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している株式や債券、不動産担保証券の上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。しかし、為替ヘッジコストの発生などが基準価額の上昇を抑制しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

※インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト
 - マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比
	円	騰 落 率 %		
(期首)2019年 8月19日	10,729	—	—	98.0
8月末	10,791	0.6	—	99.0
9月末	10,772	0.4	—	99.3
10月末	10,770	0.4	—	98.0
11月末	10,728	△ 0.0	—	99.1
12月末	10,811	0.8	—	95.9
2020年 1月末	10,806	0.7	—	—
(償還)2020年 2月18日	10,798.54	0.6	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2016. 2. 1 ~ 2020. 2. 18）

海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともに堅調に推移しました。

株式市場は、原油価格の上昇や米国トランプ政権への期待などから、当ファンド設定時から2018年初めにかけて上昇しました。その後、米国の長期金利が大幅に上昇したことやインフレ上昇懸念が膨らんだこと、世界的な貿易摩擦への懸念などから下落する局面もありましたが、米国の好調な経済指標などを背景に、上昇基調で推移しました。しかし2018年後半は、米中貿易摩擦懸念の再燃や景気減速観測の台頭などから下落しました。2019年以降は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における利上げ休止や利下げ観測の強まり、米中の関係改善に対する根強い期待などが相場を支え、上昇基調で推移しました。

債券市場は、英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感や先進諸国の緩和的な金融政策などを背景に、2016年前半は金利は低下しました。その後は、米国の利上げ観測の高まりなどを受けて金利は上昇基調で推移しましたが、2018年末にかけて、世界的な株安や景気減速観測の台頭などから、金利は低下しました。2019年に入ると、世界的に各国の中央銀行が金融緩和方向に動く中、金利は一段と低下しました。2019年後半は、米中通商協議の進展期待などから金利は上昇しましたが、2020年1月以降は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大への懸念などからリスク回避的な動きが強まり、金利は再び低下しました。

非伝統的高利回り資産（※）は、米国の住宅市場が改善していることなどが支援材料となり、不動産担保証券やリートなどが堅調に推移しました。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

信託期間中の運用方針

当ファンド

インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を選好する方針です。リスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインの獲得もめざした運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2016. 2. 1 ~ 2020. 2. 18)

■当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国のさまざまな資産に投資を行い、機動的に各資産の配分比率を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、米国株式市場が底堅く推移する中、米国株式を選好しました。リスクを過度にとり過ぎないように留意して運用しました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。エマージング債券については、世界的に貿易戦争をめぐる緊張が高まったことや米ドル高による新興市場からの資産流出懸念の高まりなどから、慎重な姿勢で運用を行いました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、米国の力強い個人消費が不動産市場や一般的に経済を下支えするものと判断し、不動産担保証券や優先株式に着目した運用を行いました。

また、原資産通貨売り／円買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期、第3期および第4期、第7期各10円の収益分配を行いました。なお、第2期、第5期および第6期は基準価額の水準を勘案して、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 8. 20～2020. 2. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	66円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,770円です。
（投 信 会 社）	(21)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(44)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	66	0.616	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

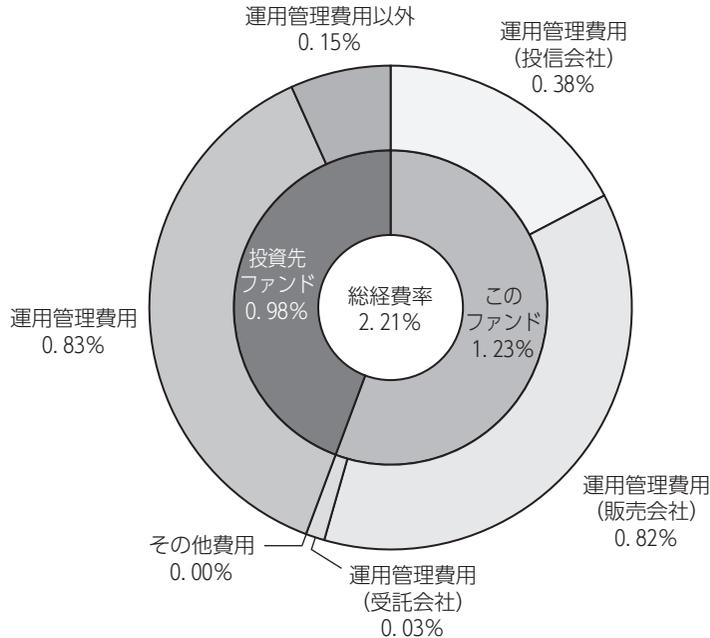
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.21%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.21%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.83%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年8月20日から2020年2月18日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	10.81128	964	1,404.71038	125,568

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年8月20日から2020年2月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ マネーアセット・ マザーファンド	—	—	40	40

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年8月20日から2020年2月18日まで)

買 付	当			期 売	付		
	銘 柄	□ 数	金 額		銘 柄	□ 数	金 額
		千口	千円		千口	千円	
			平均単価				平均単価
			円				円
				MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	1,404.71038	125,568	89

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首	
	□ 数	金 額
		千口
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド		40

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年2月18日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	82,486	100.0
投資信託財産総額	82,486	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	82,486,845円
コール・ローン等	82,486,845
(B) 負債	616,470
未払信託報酬	616,398
未払利息	72
(C) 純資産総額 (A - B)	81,870,375
元本	75,816,166
償還差損益金	6,054,209
(D) 受益権総口数	75,816,166口
1万口当り償還価額 (C / D)	10,798円54銭

* 期首における元本額は118,104,099円、当作成期間中における追加設定元本額は53,398円、同解約元本額は42,341,331円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は10,798円54銭です。

■損益の状況

当期 自 2019年8月20日 至 2020年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	848,330円
受取配当金	851,735
受取利息	7
支払利息	△ 3,412
(B) 有価証券売買損益	295,324
売買益	431,922
売買損	△ 136,598
(C) 信託報酬等	△ 616,407
(D) 当期損益金 (A + B + C)	527,247
(E) 前期繰越損益金	1,080,090
(F) 追加信託差損益金	4,446,872
(配当等相当額)	(5,237,325)
(売買損益相当額)	(△ 790,453)
(G) 合計 (D + E + F)	6,054,209
償還差損益金 (G)	6,054,209

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年2月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年2月18日		資産総額	82,486,845円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	616,470円
				純資産総額	81,870,375円
受益権口数	1,000,000口	75,816,166口	74,816,166口	受益権口数	75,816,166口
元本額	1,000,000円	75,816,166円	74,816,166円	1単位当り償還金	10,798円54銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	95,262,382	101,415,521	10,646	10	0.10
第2期	150,661,457	161,368,714	10,711	0	0.00
第3期	217,077,164	236,289,930	10,885	10	0.10
第4期	183,117,045	198,909,919	10,862	10	0.10
第5期	155,297,444	167,769,936	10,803	0	0.00
第6期	154,061,128	164,325,084	10,666	0	0.00
第7期	118,104,099	126,713,773	10,729	10	0.10

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	10,798円54銭

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
4 期末 (2018年 2 月19日)	10,131	10	△ 2.3	—	98.9	108
5 期末 (2018年 8 月20日)	10,617	10	4.9	—	99.4	47
6 期末 (2019年 2 月18日)	10,644	0	0.3	—	99.6	47
7 期末 (2019年 8 月19日)	10,486	0	△ 1.5	—	98.5	43
償 還 (2020年 2 月18日)	11,047.01	—	5.4	—	—	43

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

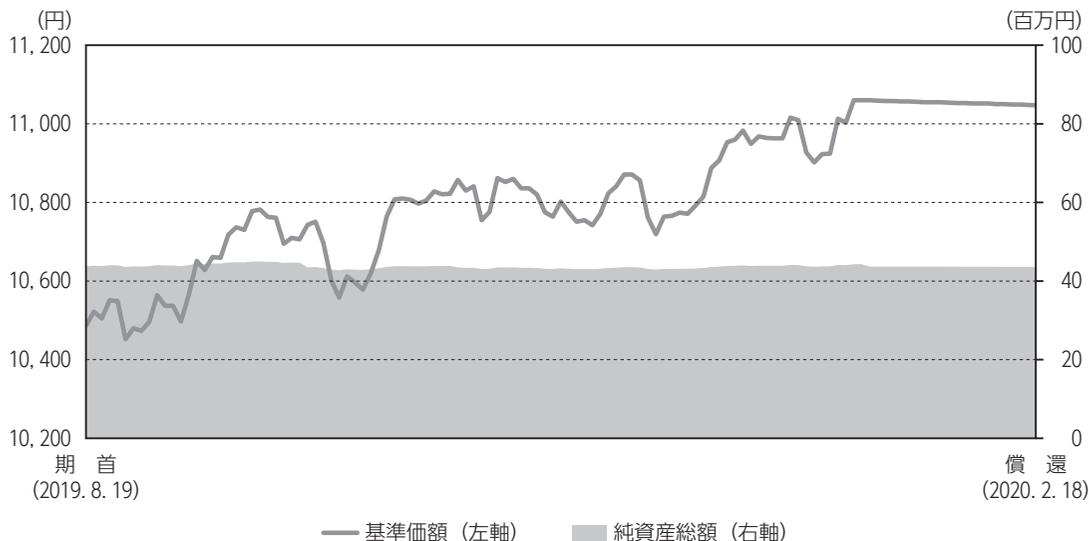
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：11,047円01銭（分配金40円）

騰落率：10.9%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの設定以降、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している株式や債券、不動産担保証券の上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。しかし、米ドルが対円で下落（円高）したことなどが基準価額の上昇を抑制しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

※インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率			
(期首)2019年 8月19日	円	10,486	%	%	%
8月末		10,564	—	—	98.5
9月末		10,743	0.7	—	98.5
10月末		10,841	2.5	—	99.3
11月末		10,871	3.4	—	98.3
12月末		10,871	3.7	—	98.4
2020年 1月末		11,009	5.0	—	98.5
2020年 1月末		11,054	5.4	—	—
(償還)2020年 2月18日		11,047.01	5.4	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2016. 2. 1 ～ 2020. 2. 18）

■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともに堅調に推移しました。

株式市場は、原油価格の上昇や米国トランプ政権への期待などから、当ファンド設定時から2018年初めにかけて上昇しました。その後、米国の長期金利が大幅に上昇したことやインフレ上昇懸念が膨らんだこと、世界的な貿易摩擦への懸念などから下落する局面もありましたが、米国の好調な経済指標などを背景に、上昇基調で推移しました。しかし2018年後半は、米中貿易摩擦懸念の再燃や景気減速観測の台頭などから下落しました。2019年以降は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）における利上げ休止や利下げ観測の強まり、米中の関係改善に対する根強い期待などが相場を支え、上昇基調で推移しました。

債券市場は、英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感や先進諸国の緩和的な金融政策などを背景に、2016年前半は金利は低下しました。その後は、米国の利上げ観測の高まりなどを受けて、金利は上昇基調で推移しましたが、2018年末にかけて、世界的な株安や景気減速観測の台頭などから、金利は低下しました。2019年に入ると、世界的に各国の中央銀行が金融緩和方向に動く中、金利は一段と低下しました。2019年後半は、米中通商協議の進展期待などから金利は上昇しましたが、2020年1月以降は、中国で発生した新型肺炎の感染拡大への懸念などからリスク回避的な動きが強まり、金利は再び低下しました。

非伝統的高利回り資産（※）は、米国の住宅市場が改善していることなどが支援材料となり、不動産担保証券やリートなどが堅調に推移しました。

※リート、優先証券、不動産担保証券など。

■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、ファンド設定以降、新興国株式が急落するなどリスク回避の動きが強まり、2016年後半にかけて円高米ドル安が進みました。その後は、米国トランプ政権への期待などから円安米ドル高が進み、2017年以降はほぼ横ばい圏で推移しました。

信託期間中の運用方針

当ファンド

インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資します。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、優先証券やハイ・イールド債券などの高利回り資産を選好する方針です。リスクを抑えつつ、クーポン、配当、カバード・コールによるインカム収入の積み上げを図るとともに、キャピタルゲインの獲得もめざした運用を行います。なお、市場のボラティリティ上昇の可能性などにも留意しながら、リスク管理と銘柄選択に注力していく方針です。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

（2016. 2. 1～2020. 2. 18）

当ファンド

当ファンドは、インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

インカム・アロケーション・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界各国のさまざまな資産に投資を行い、機動的に各資産の配分比率を調整することで、安定した利回りと信託財産の着実な成長をめざしてポートフォリオを構築しました。

株式については、米国株式市場が底堅く推移する中、米国株式を選好しました。リスクを過度にとり過ぎないように留意して運用しました。

債券については、クレジット商品の幅広い資産クラスおよびセクターに分散投資を意識した運用を行いました。エマージング債券については、世界的に貿易戦争をめぐる緊張が高まったことや米ドル高による新興市場からの資産流出懸念の高まりなどから、慎重な姿勢で運用を行いました。

利回りの獲得や分散投資の観点から魅力的な資産と考えている非伝統的高利回り資産では、米国の力強い個人消費が不動産市場や一般的に経済を下支えするものと判断し、不動産担保証券や優先株式に着目した運用を行いました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第2期～第5期各10円の収益分配を行いました。なお、第1期、第6期および第7期は基準価額の水準を勘案して、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 8. 20～2020. 2. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	67円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,822円です。
(投 信 会 社)	(21)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	67	0.616	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

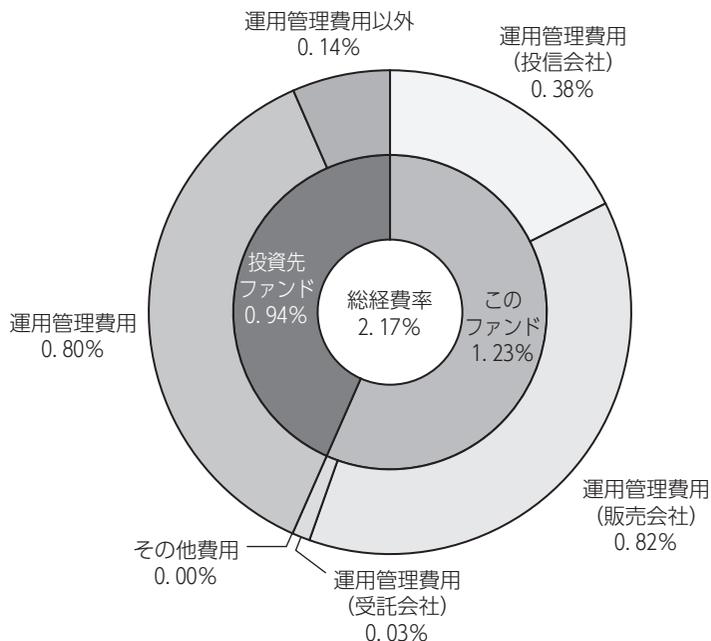
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.17%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.17%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年8月20日から2020年2月18日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	9.4188	781	536.77218	45,641

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年8月20日から2020年2月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ マネーアセット・ マザーファンド	—	—	100	100

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年8月20日から2020年2月18日まで)

当 期				期 中			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MULTI-ASSET INCOME ALLOCATION FUND NON- HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	536.77218	45,641	85

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
	千口
ダイワ・マネーアセット・ マザーファンド	100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年2月18日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	43,892	100.0
投資信託財産総額	43,892	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月18日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	43,892,726円
コール・ローン等	43,892,726
(B) 負債	270,840
未払信託報酬	270,802
未払利息	38
(C) 純資産総額 (A - B)	43,621,886
元本	39,487,514
償還差損益金	4,134,372
(D) 受益権総口数	39,487,514口
1万口当り償還価額 (C / D)	11,047円01銭

* 期首における元本額は41,712,498円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,224,984円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は11,047円01銭です。

■損益の状況

当期 自 2019年8月20日 至 2020年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	765,023円
受取配当金	766,452
受取利息	3
支払利息	△ 1,432
(B) 有価証券売買損益	1,720,539
売買益	1,756,655
売買損	△ 36,116
(C) 信託報酬等	△ 270,807
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,214,755
(E) 前期繰越損益金	2,389,569
(F) 追加信託差損益金	△ 469,952
(配当等相当額)	(1,161,633)
(売買損益相当額)	(△ 1,631,585)
(G) 合計 (D + E + F)	4,134,372
償還差損益金 (G)	4,134,372

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年2月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年2月18日		資産総額	43,892,726円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	270,840円
				純資産総額	43,621,886円
受益権口数	1,000,000口	39,487,514口	38,487,514口	受益権口数	39,487,514口
元本額	1,000,000円	39,487,514円	38,487,514円	1単位当り償還金	11,047円01銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	193,130,106	176,792,166	9,154	0	0.00
第2期	195,585,308	202,909,539	10,374	10	0.10
第3期	107,572,944	111,662,275	10,380	10	0.10
第4期	107,519,394	108,923,226	10,131	10	0.10
第5期	44,584,038	47,334,088	10,617	10	0.10
第6期	44,776,987	47,658,506	10,644	0	0.00
第7期	41,712,498	43,740,275	10,486	0	0.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	11,047円01銭

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド
（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）

当ファンド（ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年2月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2019年7月31日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$1,899,511）	\$ 1,723,186
利害関係人への投資（簿価 \$20,801,332）	21,161,028
現金	2,109
外国為替先渡契約による評価益	109,209
先物取引による評価益	16,585
ブローカーからの未収金	7,152
未収：	
利息	1,693
利害関係人からの配当	3,428
資産合計	23,024,390
負債	
外国為替先渡契約による評価損	26,449
未払：	
運用会社報酬	77,511
専門家報酬	67,898
会計および管理会社報酬	12,867
保管会社報酬	8,634
名義書換代理人報酬	2,959
登録料	2,642
為替取引執行会社報酬	1,561
為替運用会社報酬	546
負債合計	201,067
純資産	\$ 22,823,323
純資産	
ブラジル・リアル・クラス	\$ 5,628,500
通貨セレクト・クラス	3,307,894
円ヘッジ・クラス	4,299,089
ヘッジなし・クラス	9,587,840
	\$ 22,823,323

発行済み受益証券口数

ブラジル・リアル・クラス	10,013,611
通貨セレクト・クラス	6,416,165
円ヘッジ・クラス	5,193,098
ヘッジなし・クラス	12,375,310

受益証券1口当り純資産額

ブラジル・リアル・クラス	\$	0.562
通貨セレクト・クラス	\$	0.516
円ヘッジ・クラス	\$	0.828
ヘッジなし・クラス	\$	0.775

損益計算書

2019年7月31日に終了した年度

投資収益

受取利息	\$	152,055
配当収益（源泉徴収税 \$14,205控除後）		33,144
利害関係人への投資からの受取配当金（源泉徴収税 \$284,787控除後）		738,624
投資収益合計		<u>923,823</u>

費用

運用会社報酬		172,830
専門家報酬		66,180
会計および管理会社報酬		44,321
保管会社報酬		25,853
受託会社報酬		9,379
名義書換代理人報酬		8,988
為替運用会社報酬		8,715
為替取引執行会社報酬		4,600
登録料		2,758
支払利息		128
費用合計		<u>343,752</u>

投資純利益

580,071

実現益（損）および評価益（損）：

実現益（損）：

証券投資		724,299
利害関係人への投資		(224,052)
先物取引		58,064
外国為替取引および外国為替先渡契約		247,883
純実現益		<u>806,194</u>

評価益（損）の純変動：

証券投資		(789,440)
利害関係人への投資		630,276
先物取引		15,213
外国為替換算および外国為替先渡契約		(28,595)
評価損の純変動		<u>(172,546)</u>

純実現益および評価益（損）の純変動

633,648

運用による純資産の純増

\$ 1,213,719

投資明細表
2019年7月31日現在

証券数	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
	上場投資信託（ETF）（91.3%）		
	米国（91.3%）		
60,095	Alerian MLP ETF	\$	590,734
102,189	iShares 0-5 Year High Yield Corporate Bond ETF ^(a)		4,758,942
9,763	iShares 10+ Year Credit Bond ETF ^(a)		625,222
28,183	iShares 1-3 Year Credit Bond ETF ^(a)		1,504,127
10,845	iShares 7-10 Year Treasury Bond ETF ^(a)		1,191,540
14,296	iShares Core High Dividend ETF ^(a)		1,348,113
9,491	iShares Currency Hedged MSCI Eurozone ETF ^(a)		284,920
14,454	iShares Emerging Markets Dividend ETF ^(a)		580,183
39,811	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF ^(a)		3,460,770
12,441	iShares iBoxx \$ Investment Grade Corporate Bond ETF ^(a)		1,546,789
10,968	iShares International Developed Real Estate ETF ^(a)		321,253
23,244	iShares International Select Dividend ETF ^(a)		696,158
5,782	iShares JP Morgan USD Emerging Markets Bond ETF ^(a)		657,298
6,848	iShares MBS ETF ^(a)		737,735
52,046	iShares U. S. Preferred Stock ETF ^(a)		1,943,918
6,674	iShares U. S. Real Estate ETF ^(a)		596,589
	米国合計		20,844,291
	上場投資信託（ETF）合計（簿価 \$20,735,952）		20,844,291
	投資信託（4.0%）		
	ルクセンブルク（4.0%）		
25,732	BlackRock Global Fund - Emerging Markets Equity Income Fund Class X6 ^(a)		306,209
56,298	BlackRock Global Funds - Asian Tiger Bond Fund Class X3 ^(a)		601,262
	ルクセンブルク合計		907,471
	投資信託合計（簿価 \$832,439）		907,471
	元本		
	短期投資（5.0%）		
	グランド・ケイマン（0.1%）		
	定期預金（0.1%）		
	Brown Brothers Harriman & Co.		
E U R	4,186 -0.58% due 2019/8/1		4,661
J P Y	108,643 -0.26% due 2019/8/1		1,001
G B P	7 0.37% due 2019/8/1		9
A U D	2,167 0.37% due 2019/8/1		1,493
N O K	1 0.60% due 2019/8/1		0 ^(b)
U S D	7,922 1.65% due 2019/8/1		7,922
	定期預金合計		15,086
	グランド・ケイマン合計（簿価 \$15,086）		15,086

元本	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
	シンガポール (4.9%)		
	定期預金 (4.9%)		
	DBS Bank, Ltd.		
U S D	1,117,366 1.65% due 2019/8/1		1,117,366
	定期預金合計		1,117,366
	シンガポール合計 (簿価 \$1,117,366)		1,117,366
	短期投資合計 (簿価 \$1,132,452)		1,132,452
	投資総額 (簿価 \$22,700,843)	100.3%	\$ 22,884,214
	現金および他の資産を超過する負債	(0.3)	(60,891)
	純資産	100.0%	\$ 22,823,323

投資明細表に記載の有価証券はすべて、その証券の所在地よりもカントリーリスクがどこにあるかについて経営陣が最善の評価を行い分類しています。

- (a) 運用会社の利害関係人。
(b) 適正価格は \$1未満です。

2019年7月31日現在、以下の先物取引について現金 \$7,152をブローカーが保有しています。

2019年7月31日現在の先物建玉（純資産の0.1%）

ポジション	銘柄	限月	契約枚数	純評価益 / (損)
Short	British Pound Currency Futures	2019年9月	(3)	\$ 11,681
Short	Euro FX Currency Futures	2019年9月	(3)	10,394
Short	Japan Yen Currency Futures	2019年9月	(1)	844
Long	U.S. Long Bond Futures	2019年9月	2	11,810
Short	U.S. Treasury 5-Year Note Futures	2019年9月	(9)	(12,445)
Long	U.S. Treasury 10-Year Note Futures	2019年9月	25	49,691
Short	U.S. Ultra Bond Futures	2019年9月	(7)	(55,390)
				\$ 16,585

2019年7月31日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.4%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
B R L	Citibank N.A.	21,409,414	2019/8/8	U S D	5,606,775	\$ 81,048	\$ -	\$ 81,048

2019年7月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の0.1%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
I D R	Citibank N.A.	7,435,104,236	2019/8/8	U S D	524,964	\$ 5,126	\$ -	\$ 5,126
I N R	Citibank N.A.	37,096,333	2019/8/8	U S D	540,375	-	(1,370)	(1,370)
M X N	Citibank N.A.	9,382,996	2019/8/8	U S D	491,798	2,012	-	2,012
P H P	Citibank N.A.	24,980,419	2019/8/8	U S D	487,046	3,779	-	3,779
R U B	Citibank N.A.	35,065,380	2019/8/8	U S D	549,858	2,526	-	2,526
T R Y	Citibank N.A.	3,829,190	2019/8/8	U S D	672,130	14,718	-	14,718
						\$ 28,161	\$ (1,370)	\$ 26,791

ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）

2019年7月31日現在の円ヘッジ・クラスの外国為替先渡契約残高（純資産の-0.1%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / （損）	
J P Y	Citibank N. A.	449,465,255	2019/8/8	U S D	4,166,517	\$	-	\$ (25,079)	\$ (25,079)

通貨の略称：

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・リアル
EUR	-	ユーロ
GBP	-	英ポンド
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
J P Y	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
NOK	-	ノルウェー・クローネ
PHP	-	フィリピン・ペソ
RUB	-	ロシア・ルーブル
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

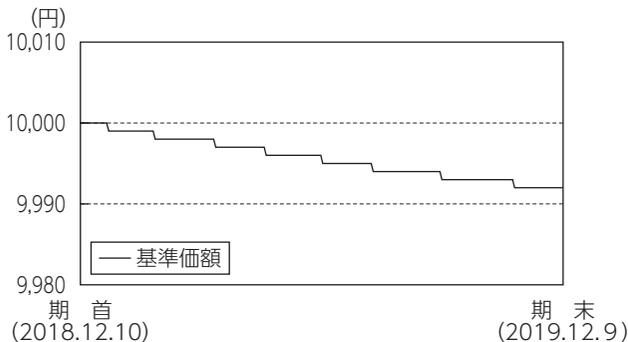
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
	10,000	-	-
12月末	10,000	0.0	-
2019年1月1月末	9,999	△0.0	-
2月末	9,998	△0.0	-
3月末	9,997	△0.0	-
4月末	9,997	△0.0	-
5月末	9,996	△0.0	-
6月末	9,995	△0.1	-
7月末	9,994	△0.1	-
8月末	9,994	△0.1	-
9月末	9,993	△0.1	-
10月末	9,993	△0.1	-
11月末	9,992	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	9,992	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,000円 期末：9,992円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	2 (2)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	40,000	(40,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘	柄	金 額	柄
801 国庫短期証券 2019/3/18		千円 40,000	千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	7,324,100	100.0
投資信託財産総額	7,324,100	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,324,100,953円
コール・ローン等	7,324,100,953
(B) 負債	44,082
その他未払費用	44,082
(C) 純資産総額(A - B)	7,324,056,871
元本	7,329,994,437
次期繰越損益金	△ 5,937,566
(D) 受益権総口数	7,329,994,437口
1万口当り基準価額(C / D)	9,992円

* 期首における元本額は9,018,625,641円、当作成期間中における追加設定元本額は4,065,530,242円、同解約元本額は5,754,161,446円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド (為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αワトロプレミアム (毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αワトロプレミアム (年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム (毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム (年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド (為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド (為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ/パリュール・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド10,000円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型) 4,995円、ダイワ・ブラジル・レアル債α (毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α (毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ118,909,472円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver6 - 1,052,878,511円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver7 - 1,327,444,782円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver4 - 858,767,992円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver5 - 3,405,863,412円、ダイワ円債セレクト・マネーコース504,712,528円、ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター (毎月分配型) 為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター (毎月分配型) 日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター (毎月分配型) 通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター (年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター (年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり (毎月分配型) 1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし (毎月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース (毎月分配型) 1,544円、通貨選択型ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース (毎月分配型) 1,984円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,992円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,937,566円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△4,832,170円
受取利息	2,318
その他収益金	4
支払利息	△4,834,492
(B) その他費用	△1,752,564
(C) 当期損益金(A + B)	△6,584,734
(D) 前期繰越損益金	119,826
(E) 解約差損益金	2,559,971
(F) 追加信託差損益金	△2,032,629
(G) 合計(C + D + E + F)	△5,937,566
次期繰越損益金(G)	△5,937,566

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。